小学校６年　社会科　調査結果及び考察

（１）設定通過率との比較　　※表中の数値は設問数

分類 ＼ 設定通過率の	観点別			内容別			計
	思考・判断	技能・表現	知識・理解	共通問題	地理的分野	歴史的分野	
＋10％ より高い	2	0	0	0	2	0	2
±10％ の範囲内	6	3	8	3	5	9	１７
－10％ より低い	0	0	1	1	0	0	1
計	8	3	9	4	7	9	２０

（２）　考察

①　全体について

ア　全体の95%の問題が設定通過率の「＋10%より高い」、「±10%の範囲内」で、学習状況はおおむね良好である。

②　成果

ア　過去に出題され通過率が低かった内容については改善が図られている。

イ　複数の資料を比較・関連付けながら思考・判断したり、分かったことや考えたことを自分の言葉で表現したりすることについては指導の成果が表れてきている。

③　課題

ア　地図の活用に関する基礎的な知識や技能（地図上での方位、距離）の定着が図られていない。

イ　歴史的事象のもつ意味や歴史上の人物の働きについての理解が不十分なところがある。

（３）　今後の指導

ア　歴史的事象について、関わりの深い人物や代表的な文化遺産を中心に調べ、それらを工夫して表現することによって、歴史に対する理解と愛情を育てる指導の充実を図る。

○ポイント［(14を例として］

①歴史上の人物への興味・関心を高める手立て

②分かったことや考えたことを自分の言葉で表現する（説明・論述など）活動の重視

○具体例

①年表によるまとめ

年表をつくるだけで終わらず、歴史上の人物が活躍した時代の様子や政治の様子について、分かったことや考えたことをノートにまとめる活動を入れる。

②歴史新聞や人物事典によるまとめ

調べたことをまとめるときには、インタビュー形式やクイズ形式にするなど自分の言葉で表現するような工夫をさせる。また、肖像画や文化遺産の画像、教科書のさし絵なども活用し、興味・関心を高める。

③劇化によるまとめ

表現する場面を選んでタイトルを付けたり、登場人物を選んでシナリオを考えたりする活動を通して、学んだことを整理して再構築させる。

年 表

年	おもなできごと
6世紀	
	＊豪族がたがいに争う
	＊蘇我氏が力をもつ
574	聖徳太子が生まれる
589	◆隋が中国を統一する
593	聖徳太子が摂政となる
7世紀	
604	17条の憲法を定める
607	遣隋使を送る
618	◆隋がほろび唐がおこる
622	聖徳太子がなくなる
630	遣唐使を送る
645	大化の改新
	中大兄皇子が皇太子となる
646	改新の法令が出る
667	都を近江に移す
668	天智天皇が位につく

◎分かったこと・考えたこと

肖像画

文化遺産

・小学校の歴史学習では、通史的に展開し知識を網羅的に覚えさせるのではなく、遺跡や文化財、年表や文章資料などの資料を活用して、人物の働きや代表的な文化遺産を中心に学習を展開することが重要である。

・人物の働きについて調べるときには、人物の肖像画や伝記、エピソード（逸話）などによって、人物への興味・関心を高めることも大切である。

・文化遺産については、歴史的事象や人物の働きとの関連に配慮して児童が理解しやすいものを選択して取り上げ、具体的に調べることができるようにする。

・歴史学習を通して、自分たちの生活が我が国の長い歴史や先人たちの働きと結び付いているということを理解させ、歴史への興味・関心を深めることで、我が国の歴史や伝統を大切にし、国を愛する心情を育てていきたい。

（14全国調査の関連問題、高校入試を参考